

### <2015年2月湘南レース・レポ>

1月の新春レースは風がなくなり我々のクラスは全艇 DNF。おまけに帰り逗子沖でエンジンがかからず、BANに栄光の・・・いや曳航されてシーボニアに戻るといふアクシデントもあり、この日が今年初めてのレースとなりました。ちなみにエンジンの方はスターターの故障ということでスターター自体を交換。風がなかったのでセーリングで帰ることもできず、BANに入っていたおかげで高い曳航料も払わずに済みました。

さて本日のレース、第1レースは上下1マイルを2周。第2レースは1周のソーセージコース。ソーセージコースはクルーワークと海面の読みが肝になります。幸いNクラスがスタートしても、Bグループの大型艇やIクラスが追い抜いて先の海面を走ってくれるため「あそこにブローがある!」「あそこにヘッダーが入るからあそこでタックだ!」とわかりやすいんですが、クルーワークの方は毎回人数が足らず下手すると今回はダブルハンドになるんじゃないか?という心配がありました。

結局メンバーから私とI氏が。助っ人としておなじみのYさんと、明日は吹くからどうしてもあとひとり欲しいと懇願して小網代の「波勝」から70歳のYoさんに乗って頂きました。メンバーは4人。

ヘルム・・・I

メイン・・・Yo

ジブ・・・Y

バウ・・・カトー　の布陣。

風は朝から北風なのに白波が立ちブローで8~9mくらい。そしてなによりも寒い。「中止にならないかな・・・」と心の中で弱虫カトーが囁くも、ハーバー事務所は「昼から落ちますから」とやる気マンマン。とりあえず秋谷のレース海面へ向かう。道中バウで砕けた波がデッキを洗い「こりゃ滑りやすいな」とハーネスを着用。Yoさんはキャビンに入ったままなかなか出てこない。二日酔いで寝るのかな?「レース海面に着くまで寝て下さい」と声をかけると「バカ言ってるんじゃない。バウのクッションやアンカーが重いからマスト下に集中させてるんだ」と、さすが長老レースに対する意気込みが違う!そんな憂鬱な天候の中、今日はひとつ楽しみなことがありました。それは中古

の NO,3 を初めて上げる。今までフォルタレーザはジェノアと紫外線よけカバーが着いたファールージブしかなく、ジェノアを張れない風になると途端にレースモードから完走サバイバルモードにチェンジしていたのです。ファールージブの深いのびのびセールではヒールばかりでまったく上れずレースどころではありません。しかし今日は違います。人に言えない激安価格で買った NO,3。果たして元は取れるか？おあつらえ向きの風が吹いています。

レース海面に着くと落ちるところかビュービュー吹いていてメイン1ポント NO,3 をセッティング。はじめて開く NO,3 は使い込んだ中古ではあるが、セールは浅く小さく頼もしい。バテンはファールー用に縦バテンを入れる選択もあったがトラブルのもとになるのでなしに。だいたい NO,3 を上げる時は吹いている時なので、そんな時のトラブルでバウに這っていくのはできれば避けたいと、弱虫バウマン・カトーは思ったのでした。

そんなこんなでレースはスタート。ややポートロングのコース。下から出て、みんながタックしてからタック。メインはほとんど逃がしながらオーバーヒールを押さえて走る。ぶっつけ本番でどうトリムしていいかわからないけど、上り角度はファールージブとはぜんぜん違う。少なくともちゃんと走っている。戦況は強風に強い「風太郎」が右海面に突っ込んで先行している。コース中程を大型艇の「モーニングスター」そのあとを J24「ルミナス」が続く。「ルミナス」は毎回ブラインドセーラーを乗せていても強風で必ず力を発揮する。素晴らしいシーマン達だ。ライバルの「バーバリアン」は上れず遅れをとっているがレーティングという強い味方を付けている。

1上に向かいながらカトーはずっと悩んでいた。スピンを上げようか上げまいか。トラブルと4人だし……。NクラスBグループの先行艇を見るとマーク回航後すぐにスピンを上げている艇は半々だ。やめよう。しかし1上に近づくとつれ風が落ちてきた。スピンセットだ。とベアウエイでセットすると Yさんから「ジャイブセットだよ。ポートロングで来たんだから」と変更。

レイラインに乗りこの艇はじめての Yoさんにメイントリマーがジブのファールーを巻くことになっていることを告げいよいよ1上にアプローチ。

「風太郎」「ルミナス」「フォルタレーザ」もしかしたら「モーニングスター」がそれより先かも。スピンをセットしていて周りを見ている余裕がなかった。

マークを回って即ジャイブ。安定してから落ち着いてスピニアップ。上りであればほどヒールしていた風も後ろに回ると軽風を感じるから不思議だ。スピンを上げていない「ルミナス」に追いつき、3人でスピンを張る「風太郎」に追いつくと走る。どんどん風が落ちはじめている気がして今のうちにジブをジェノアに交換するかどうか迷う。Yoさんから下マークを回ってくる先行艇のヒール角度を見て「まだ吹いてるよ。このままいこう」とアドバイスを受け NO,3 で勝負することに。

下マークは10分遅れでスタートしてきたIクラスの大型艇が追いついてきて大混戦。まずスピンをコンパニオンウェイへ回収。3艇身以内から内側に入ってくる不屈なIクラスの艇と外から下で突き上げてくるIクラスの艇にサンドイッチされながら回航。アンタ達大っきいんだから早く行ってくれ！と心の中で叫びながらやっとなフレッシュウインドを掴む。

上りになり NO,3 で正解とわかる。どうもカトーはフリーではプレーニングしてなけりゃ軽風だと思う癖があるらしい。2上へのコースはそれでも風が落ちてきたので走りやすくなった。走りながら NO,3 のトリムについて Yさんと話す。「次はもっと下いっぱいまで引けるように結び目を小さくしよう」「フォアステーがたるんでいるのはどうしたらいい？」「ファーラーはステイを調整できないから無理」Yさんからヨットを教わるのは楽しい。いつもは2上への道中キャビンでスピンをパッキングするカトーだが、ハイクアウトの方が重要なので「このままコンパニオンからスピン上げられないか」と相談。「一度デッキに全部出してアフターガイをしっかりと引いておけば大丈夫」と次は横着スピニアップにチャレンジ。通常このサイズならバウハッチからスピンを上げ下げする艇が多いと思うが、なんか破れそうでパッキングしないと心配なカトーなのです。でも今日は横着スピニアップ。

2上は「モーニングスター」「風太郎」に続いて回航。安定したところでスピンをデッキに全部出してアフターガイをポールまで引いてからスピニアップ。うまく展開。1度ジャイブし差は少し詰めたものの順位は変わらずそのままフィニッシュ。気になるライバル「バーバリアン」はかなり後ろにいる。勝てたかも？後ろを振り返った Yoさんは「後ろに2艇しかいないよ」とがっかり気を落としている。この時はまだNクラスAグループが5艇しかエントリーしてい

なかったことを知らなかった。結局第1レースは修正で3着4位。ライバル「バーバリアン」とは6分半離れたけど修正で5着1位。2位「風太郎」3位「ルミナス」の順。

第2レースがはじまるまでどんどん風が落ちてきた。こりゃジェノアだな。次はIクラスのとNクラススタートなので時間はある。ジブチェンジだ。と急いでジブを交換。待てよ、こんなジブ交換するならファーラーなんていらんんじゃないの??? さあジェノアの風になれば「フォルタレーザ」は速い! スタートは上からリコールすれすれで出てスタボーをのぼす。リフトリフトを走って1上をAグループトップで回航。そのままスピンを張って追走する「モーニングスター」を振り切りトップでフィニッシュ。修正でも1着1位。2位「ルミナス」3位「モーニングスター」4位「バーバリアン」5位「風太郎」第2レースは気温も上がり「フォルタレーザ」の風になり会心のレースでした。

帰りもそのまま快適なセーリング。総合でカトーの予想は優勝「ルミナス」と思っていました。まさか第1レース「バーバリアン」が1位だとは思っていませんでした。

結局総合得点は暫定ですが

「フォルタレーザ」	4-1	5
「ルミナス」	3-2	5
「バーバリアン」	1-4	5

と3艇が5点で並び、最終レーストップの「フォルタレーザ」が1位に決まりました。

勝因は第2レース「モーニングスター」が3位に入ってくれたおかげです。もし4位だったら「バーバリアン」が3位になり合計4点で優勝。また第1レース「風太郎」が2位に入らなかったら「ルミナス」が2位になり4点で優勝。と全5艇がなにかしら勝敗に関わるいいレースでした。幸先のいいスタート。今年こそ年間優勝を勝ち取りま〜す! 楽しいレースでした。

フォルタレーザ・カトー